

自分ができるサポートの情報を得られるアプリ

☰ 概要

実際にサポートをしたい人が、どんなサポートが可能かを自分で確認や情報を得られるアプリ。

利用者の対象は、地域のサポートを実際にしてみたい人。

サポートの種類も様々あると思うので、まずは小さいことでも大きいことでも、どんなサポートがあるかを検索したり、確認したりできる。

過去に実際にあった事例を出す。

もし現在ボランティアを募集している情報と連絡先があれば、それも別途結果として提示する。

（ここから相手側へボタンを押したら連絡できるようにはしない）

イメージ的には、ポータルサイトに近い。

小さい事例ならば、近所にいる子どもへの接し方や近所で困っている人がいた場合にどこに連絡するのがいいのか、等をイメージしている。

また、直接的なボランティア等の実施であれば、過去の事例でサポーターの年齢や性別等を登録してもらうことで、そこからAIによる傾向などを分析し、検索条件として年齢、性別等を入れることで、自分がやりやすい内容を結果として提示できるようにする。

検索についてはチャットで対話型形式で実施もできる。

登録は特にしなくても検索できる状態とする。

サービスは無料で提供予定。

☞ 解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

地域でサポートできる人を増やすにあたって、潜在的に存在するサポートしたい人を実際にサポートする人にしたい。

☞ 解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

サポートしたい人はやりたい意欲はある人であるけど、どうしたらいいかわからない人が多いと思われる。

そのため、小さな事例でもいいので貢献できる方法を提供して、「これならばできる」と思ってもらい、小さな一歩を踏み出してもらうようにする。

☞ 類似（独創性）：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

地域のポータルサイトや各分野のポータルサイト、ボランティアをつなぐネットワークサイトが類似としてある認識。

☞ 有意性：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

各ポータルサイトよりも得ようとする情報が特化している、はず

（地域としてはボランティア、サポートより、ボランティアのネットワークからすると地域より）

☞ 実現方法：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

できるだけ手軽に使えるようにしたいので（なので登録もなし）、スマホで使用できるアプリとして提供。

ブラウザからも検索可能とする。

Webアプリケーション想定で、クラウド上に搭載し、AIはそこから呼び出して使用し、回答を返却するようにする。

☞ 課題・障壁：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

無料想定のためどのように運営費を捻出するかある。⇒そこは地域ポータルでの収益実績を真似る方向にする。

（あとはここもボランティア・・・）

そもそのアプリの宣伝、そい存在の認知をどうさせるか。⇒それこそ地域の回覧板とかで連絡する。あと電車広告？

 **期間・コスト：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください**

過去の事例登録等もあるので、情報提供元が決まってから1年半ぐらいを想定。費用5千万ぐらい？
情報提供元を中心にシステムテストを実施し、リリース。その後、過去事例は登録し続ける想定。

 **未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください**

おせっかいしたくても勇気が出ない人とか、方法がわからない人の助けになって、そういう人が地域の人（子どもや老人も含めて）を助けてくれるようになればいいな。（自分も含めて）